

事業所名: グループホーム こすも

作成日: 令和4年 4月 30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	○チームで作る介護計画とモニタリング 既存のアセスメントに加え、より深くご利用者の全体像を把握するとともに、ご本人の「困りごと」や「実現したい事」を盛り込んだアセスメントの強化を図る。	企業理念・事業所理念を再認識し、チームで認知症ケアを周知・実践できるようになる。	・アセスメント用紙の追加および勉強会の実施。 ・ご利用者一人ひとりの個別的な自立支援プラン項目の実践チェック表を用いて各個人の目標をスタッフ同士が情報共有しケアの統一を図る。	12 ヶ月
2	11	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフの更なる教育や育成を行う機会を増やす。今年度より既存の690委員会(身体拘束・虐待)に加え、教育委員会・防災委員会・おしゃれ、広報委員会を発足。各委員会でより良い職場作りを目指す。	・各委員会で定期的に(1か月に一度もしくは2か月に一度)委員会を開催し、意見交流や取り組みの明確化を図る。 ・各委員会を通して勉強会を開催し、スタッフの更なる教育や育成に努める。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月